

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・近隣の古いビルが壊され、観光関連のホテル建設が非常に増えている。通りを歩いている観光客も、来店するインバウンド客も少しずつ増えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夕方から夜間にかけて、来客がある時間帯が長くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・観光客が増えていると見受けられる。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・月初の販売量の動きが良く、後半ブレーキが掛かったもののトータルでは前年を2割上回ることができた。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	競争相手の様子	・当社の受注状況も好調に推移しており、また同業他社も前年に比べ増車傾向にある。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・飲食と建築の景気は良いようであるが、特に買い回りの物販は単価が低い。景気は余り良いようにはみえない。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・館全体では大きな変動はないものの、化粧品を中心に堅調な伸びを見せている。衣料品は天候により浮き沈みがあるが、店頭で商品の量が確保できている。ショップは順調に伸びている。
		コンビニ（代表者）	単価の動き	・はしかの影響は多少懸念されるが、全体としては安定して推移する。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・全体として景気は維持している。ただ、個別の状況においては厳しいと感じる。宿泊に関しては前年とほぼ同じで悪くはない。飲食は前年よりも数字を落としている。競争が激しい。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・予約数、売上共に例年並みの水準ではあるが今一つ物足りない。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・本土企業からの賃貸アパート建築や、県内不動産会社からの建て売り住宅建築の相談依頼など、法人先からの飛び込みが増えている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・毎月好調に推移する沖縄県への入域観光客数ではあるが、客室稼働率においては、3か月前は前年を上回る実績ではあったものの、今月は前年同月実績並みである。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・はしかの影響でキャンセルがある。
	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場客数が前月比72%、前年同月比48%と減少している。	
	x	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街では物販の店が売れなくなって、飲食業がとみに増えている。飲食業でも店舗が多くなるにつれて、お互い客を奪い合っているのが現状とみられる。大変危機感を抱いている。
企業 動向 関連 (沖縄)		*	*	*
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・実際に数字が良くなっている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事が前期末から着工され、出荷がやや良い。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・仕事はあるが、人材確保、原料調達等でなかなか受注しにくい状況である。
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		*	*	*
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多い。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求職者数の動き	・増加傾向にある求人に対して、求職者数の減少が景気回復に影響を及ぼしかねない。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・3か月前の1月は週平均求人件数1,053件に対し、4月は953件だった。約100件程度減少した。
	x	-	-	-